



和's YAMATO (わづやまと)

2022
夏号

- 写真で楽しむ群馬の自然「谷川岳と水芭蕉」
 - お客様紹介「軽井沢 浅間プリンスホテル」様
 - シリーズ群馬の芸術家「渡辺香奈」
 - 郷土史跡めぐり「金冠塚古墳」
 - 東叡山寛永寺 徳川歴代将軍家の菩提寺
- 北条氏の台頭 謀略を巡らし政権掌握
 (神社仏閣から歴史を学ぶ)



「なでしこの風」F6号 須藤和之画
ヤマトビオトープ園にて



写真で楽しむ群馬の自然～季節の花～

水芭蕉の表側の白い部分は花びらに見えますが、花を守るために葉が変化したもので「仏炎苞(ぶつえんほう)」と呼ばれます。花は中心部の黄色の部分です。「仏炎苞」の由来は、棒状の黄色い花を包み込む苞が、仏像の背景にある炎型の飾りに見立てたところから、その名で呼ばれているそうです。水芭蕉の花言葉は「美しい思い出」です。



水芭蕉
谷川岳山麓

撮影 藤重 朋紀 氏	1979 コマーシャルフォトスタジオ創美社入社
略歴 1952 群馬県利根郡みなかみ町生まれ	2001 フリー
1971 群馬県立渋川高等学校卒業	2010 写真集「上州路・一本桜」
1972 東京写真専門学校中退	2011 写真集「上州路」

須藤 和之 Kazuyuki sutoh プロフィール PROFILE

表紙の絵「なでしこの風」

1981年 群馬県前橋市生まれ
 2005年 多摩美術大学絵画学科日本画専攻卒業 2007年 東京藝術大学大学院 美術研究科 文化財保存学専攻 保存修復日本画
 修了 2010年 同大学大学院 保存修復日本画博士課程修了 博士号取得 博士審査展 お仏壇のはせがわ賞特別賞 個展(画廊翠
 轡)(同2011~20) 2011年 中央電機商会カレンダー原画(2011~21) 2013年 アーツ前橋開館記念展「カゼイロノハナ・未来への対
 話」出品、群馬銀行創立80周年記念 収蔵作品「群馬の四季」制作、慶應義塾大学非常勤講師(2013-2020) 2014年 個展(日本橋三
 越本店) (同2017,20) 2017年 群馬県展 県知事賞 2016年 個展(株式会社ヤマト) 2019年 高崎市タワー美術館トップラン
 ナーⅢ出品 2020年 上毛芸術奨励賞受賞 現在 日本美術院院友
 OFFICIAL WEBSITE:SUTOOO.NET URL: <http://sutooo.net/>



和's YAMATO (わづやまと) 夏号 2022 (第53号)

【和's yamato】の由来

ヤマトの漢字の「和」、Water&Airの頭文字を合わせて「WA」、「S」はスタート。

和's YAMATO 夏号 2022年(令和4年)6月発行

発行:株式会社ヤマト(広報室)群馬県前橋市古市町118 tel:027-290-1891 fax:027-290-1896

建設プロダクト ヤマト

株式会社ヤマト 群馬県前橋市古市町118 〒371-0844 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896

支店/東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北 営業所/軽井沢、伊勢崎、神奈川県央、茨城、太田、東松山、新潟、長野、渋川、川口、多摩、横須賀、滋賀、青森
 附属施設/大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、朝倉工場、教育センター、コンタクトセンター、サポートセンター、プロダクトセンター
 ヤマトホームページ <https://www.yamato-se.co.jp/>



東叡山寛永寺

徳川歴代将軍家の菩提寺

東叡山輪王寺門跡 門主・寛永寺貫首 浦井正明師

東叡山寛永寺は、寛永二年（六二五）に慈眼大師・天海大僧正により幕府の祈禱寺として発足し、朝廷の祈願所を兼ね、やがて徳川歴代将軍の菩提を弔う所となりました。また、「上野の宮様」と呼ばれた品法親王の存在は、将軍と並んで江戸の人々の誇りでもありました。東叡山輪王寺門跡 門主・寛永寺貫首の浦井正明師に、寛永寺の成り立ちと歩みについてご寄稿いただきました。

寛永寺の成り立ちと歩み

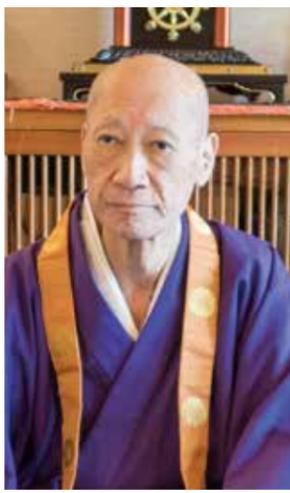
寛永寺の創建

家康・秀忠・家光と徳川三代に亘って常に大きな影響力を持ち続けた慈眼大師・天海大僧正は、かねてから徳川幕藩体制の中心地である江戸に関東における天台宗の一大拠点を築き、やがてはそこに皇子（法親王）を迎えて、宗教界全体を統轄したいと考えていた。

だが、そうした天海僧正の希望は、諸般の事情から家康の在世中はずいに実現しなかった。この計画が実現に向かって動き出したのは、秀忠の治世も末年の元和八年（六二二）の暮れになってからであった。この年の十二月、秀忠はまず上野の台地の一部を天海僧正に与えた。次いで、翌九年には御殿山（八ツ

山）に在った徳川家の別殿に白銀五万両を添えて天海僧正に贈り、僧正はこれを基礎としていよいよ寛永寺の建立にかかったのである。そして、この計画はこの年の七月に三代将軍の座に就いた家光によって一層進められ、寛永二年（六二五）の十一月には本坊が竣工し、ここに寛永寺という寺が正式に発足したのである。しかし、この時期の寛永寺は徳川家の祈禱寺であって、菩提寺ではなかったのである。

寛永寺を建立する時の天海僧正の脳裏には常に平安京（京都）と比叡山との関係があった。天海僧正は九世紀の初頭に桓武天皇と伝教大師・最澄上人によつて建てられた鎮護国家の祈禱寺・比叡山延暦寺を、この江戸の地にも再現しようと考えたのである。



東叡山輪王寺門跡 門主・寛永寺貫首
浦井正明（うらいししょうみやう）師

昭和12年（1937）東京生まれ。昭和36年（1961）慶應義塾大学文学部史学科卒業。東叡山現龍院前住職。寛永寺執事長、台東区教育委員会委員長、台東区文化財保護審議会委員等を歴任。

上野という台地が寛永寺建立のための寺地として選ばれたのも、このことと決して無関係ではない。ちょうど比叡山が京都御所から見て鬼門の東北（うしとら）に当たるのと同様に、上野の山は江戸城の鬼門に位置しているのである。いわば寛永寺は江戸城の鬼門を塞ぎ、鎮護国家と共に、徳川幕府の安泰と万民豊楽を祈るために建立された徳川幕府の祈

願寺だったのである（後に朝廷の勅願所をもかねるようになる）。ところで、寛永寺建立以前の上野の山は、すでに慶長期以来、藤堂・津軽・堀の三大名の下屋敷として割り当てられており、他にも五条天神社や二葉某などという郷士の屋敷などもあった。秀忠はこれらのそれぞれに代替地を与えて一度収公し、改めて上野

の地を天海僧正に与えたのである。

一方、天海僧正の比叡山への固執ぶりは尋常ではなかった。第一、東叡山という山号そのものが東の叡山の意味であり、寛永寺という寺号も、延暦年間に発足した延暦寺が勅許によつて年号を採つて寺号としたのに倣つて、寛永の年号を勅許を得てつけたものなのである。従つて、寛永寺は発足の年次によつては、慶長寺とか元和寺と名乗っていたはずである。

山号、寺号からしてこの通りなのだから、次々と建立される堂塔伽藍が比叡山を無視している訳がない。例えば、創建後間もなく尾張と紀伊の両徳川家によつて寄進された法華堂と常行堂（荷負堂ともいう）は、比叡山の西塔にある堂宇であり、後に相次いで建てられた山王社、釈迦堂、中堂（本堂）、文殊楼（山門）などもすべて比叡山に倣つて建立されたものである。しかも、天海僧正は比叡山を模すにあつてより広い考えを持っていた。

比叡山は位置的に京都府（山城国）と滋賀県（近江国）にまたがっている。そして、天海僧正が常陸（茨城）下館の城主水谷伊勢守勝隆の協力を得て、不忍池に中之島を築き、そこにはるばる琵琶湖の竹生嶋から辯才天を勧請してお祀りしたのは、比叡山の山麓の一方が琵琶湖だったからにほかならないのである。いわば、不忍池は江戸に於ける琵琶湖なのであり、中之嶋は竹生嶋ということになる。従つて、関東に江の嶋や鎌倉（鶴ヶ岡）のように如何に著名な辯才天が存在しようとも、勧請するのは竹生嶋か



開山堂
東叡山の開山である慈眼大師天海大僧正をお祀りしているお堂



根本中堂
元禄11年（1698）に建立された当初の根本中堂は、慶応4年（1868）彰義隊の戦争の際に焼失。現在のお堂は明治12年（1879）に移築再建されたもの。

年表

年号	西暦	事柄
天文5	1536	開山 天海大僧正 誕生。
元和8	1622	徳川秀忠、上野台地を天海に与える。
寛永2	1625	寛永寺、徳川家の祈祷寺として開創。本坊落成「寛永寺円頓院」の勅額を賜る。
寛永4	1627	常行堂・法華堂・輪蔵・東照宮・仁王門・多宝塔・三十番神社等建立。
寛永7	1630	釈迦堂建立。この頃、不忍池辯天堂初建。
寛永8	1631	五重塔・鐘楼・漆喰大仏・祇園堂・清水観音堂建立。
寛永13	1636	日光山の本地堂を寛永寺に移し元三大師を安置す。
寛永14	1637	天海版一切経、刊行開始。山王社建立。
寛永16	1639	薬師堂・五重塔焼失。直ちに再建。
寛永20	1643	天海、東叡山において入寂。第2世公海大僧正ご就任。寛永寺に住して日光山を兼務す。
慶安元	1648	天海に「慈眼大師」勅諡。天海版一切経完成。
承応3	1654	第3世守澄法親王ご就任。東叡・日光・比叡の三山を管掌す。
明暦元	1655	守澄法親王、「輪王寺」門室号を賜る。
延宝8	1680	徳川家綱、寛永寺に葬られる。これより寛永寺が徳川家の菩提寺を兼ねる。
天和元	1681	厳有院殿(家綱)霊廟造立。
天和2	1682	了翁禅師、東叡山勤学講院を興す。
元禄10	1697	文殊楼建立。
元禄11	1698	根本中堂落慶、「瑠璃殿」の勅額を賜る。
宝永6	1709	徳川綱吉が葬られる。常憲院殿(綱吉)霊廟造立。
貞享20	1735	放光堂建立。
寛延4	1751	徳川吉宗が葬られる。
天明6	1786	徳川家治が葬られる。
天保12	1841	徳川家斉が葬られる。
安政5	1856	徳川家定が葬られる。
慶応3	1867	第15世公現法親王ご就任。
慶応4	1868	公現法親王、東叡山を退く。同日兵火により、根本中堂・本坊・多宝塔・輪蔵・鐘楼等、山内の大半を焼失。
明治3	1870	東京府、寛永寺境内神社関係建築物撤去を命ず。輪王寺門跡号廃止。
明治6	1873	東叡山跡地、上野公園用地に指定。
明治12	1879	川越喜多院の本地堂を新たな根本中堂として移築再建。
明治18	1885	「輪王寺」門室号の復称許可。
大正12	1923	唐銅大仏、震災で倒壊、解体される。
昭和20	1945	東京大空襲にて徳川家霊廟・子院多数・不忍池辯天堂焼失。
昭和33	1958	浅間山観音堂建立、不忍池辯天堂再建。
昭和38	1963	徳川家御霊殿再建。
昭和41	1966	上野大仏山パゴダ建立。
昭和43	1968	不忍池大黒堂再建。
平成5	1993	開山堂再建。輪王殿開館。
平成15	2003	天海版木活字、重要文化財に指定。
平成25	2013	旧本坊表門修復完工。
平成26	2014	葵の間修復完工。
令和7	2025	開山400周年。

東叡山寛永寺

とうえいざん かんえいじ

山号は「東の比叡山」の意、寺号は寛永年間に創建されたことによります。

比叡山延暦寺を見立てています。天台宗別格大本山で、宗祖は伝教大師最澄さまです。

住所 〒110-0002

東京都台東区上野桜木1丁目14・11

らでなければならぬ訳である。このことは寛文初年(一六六一)頃までの辯才天へは池中にたつ鳥居を舟でくぐってお詣りしていたという事実によつて、よりはつきりとわかるだろう。

また、清水堂が舞台造りになつていゝのも同様で、これは京都の五条坂の清水寺から御本尊をお迎えした縁で、同寺の舞台造りを模して建てたものなのである。

更に、現在の精養軒のところに在った祇園堂は京都八坂の祇園様(午頭天王・現八坂神社)を勧請したものであり、また現在の根岸三丁目辺りがもと坂本と呼ばれていたのも、比叡山麓の「坂本」の地名を採つてつけたものである。こうした例は挙げていけば際限がない訳で、要は天海僧正が如何に比叡山を東に移すということに執心していたかを知っていたらければよいのである。

(次号に続く)

慈眼大師肖像画(現龍院蔵)

東叡山寛永寺の開山慈眼大師天海大僧正は、初代徳川家康公、秀忠公、家光公と三代の將軍にわたつて深い帰依を受け、幕府の精神的な支えとして活躍しました。陸奥国大沼郡高田(現在の福島県津美里町)に生まれ、豪族蘆名(あしな)族の出身といわれています。

若い時から学殖も広く英才とし囑望され、現在の川越喜多院の名僧豪海の門に入り、僧名を随風から天海に改めました。まず信長の焼き打ちで全山疲弊し切つた比叡山の復興を命ぜられ、幕府の支援を得て、現在の根本中堂をはじめ数々の堂宇を再建されました。

寛永寺は当初、徳川將軍家の祈祷寺として創建されましたが(後に菩提寺も兼ねる)その造営は天海僧正により、すべて比叡山延暦寺に倣つて行われています。それだけではなく、江戸庶民の憩いの場とするべく

吉野の桜を取り寄せて上野の山を桜の名所とし、また不忍池には蓮を植えて放生池としました。

一方、木活字を用いての経典出版という画期的な事業を行い、(天海版一切経として有名)その木活字は現在重要文化財に指定されています。

天海僧正は、寛永二十年十月二日に百八才という長寿を全うされました。長寿の秘訣について次のような歌を残されています。

気は長く つとめはかたく

色うすく 食ほそうして 心ひろかれ

長命は粗食 正直 日湯 陀羅尼

おりおり御下風あそばさるべし

天海僧正には、生前の功績を讃え朝廷より「慈眼大師」の大師号が下賜されました。



数少ない壮年期の御姿

北条氏の台頭

(監修：歴史家・文学博士 安藤優一郎氏 文：木下直也)

謀略を巡らし政権掌握

建久十年(二九九)に源頼朝が急死し、嫡男の頼家が二代将軍に就任するが、その二カ月後には、年若い将軍を補佐するため、十三人の有力御家人による政務運営方式が採用される。将軍の補佐、という理由は表向きで、合議体制は北条時政が自らの影響力の拡大を図り、他の御家人を失脚させるために発足させたとする説がある。十三人とは、北条時政(初代執権、後に失脚)、北条義時(二代執権)、梶原景時(時政の謀略で追放後に誅殺)、比企能員(時政の謀略で誅殺)、和田義盛(北条派)、大江広元(文官、初代政所別当)、三善康信(文官、初代問注所執事)、三浦義澄(北条派)、安達盛長(北条派)、八田知家(頼家派)、二階堂行政(文官、政所別当)、中原親能(文官、京守護)、

足立遠元(文官も兼ねた御家人)。鎌倉殿の十三人の中で、北条氏は時政、義時の二人が名を連ねている。十三人の人選は、頼朝の未亡人である北条政子が大きく関与していたものと推察され、政子の父・時政の意向が強く反映されていたと思われる。時政は頼家の祖父という立場を利用し、幕府の実権を掌握する野心を持つていたが、梶原、比企、和田、三浦と比べると家格や軍事力では劣る小勢力だったので、正攻法では実権を握れない。そのため、自らは目立たないように低姿勢で他の御家人を油断させ、権謀術策によって権力を拡大を試みた。時政は足引の引張り合いや多数派工作を誘導し、十三人は一致協力することなく、権力闘争が激化する。

梶原景時の失脚

建久十年(二九九)、北条時政は、梶原景時が御家人たちから疎まれていたことを利用し、景時を追い落とすことを画策した。景時は源頼朝に信頼され、二代将軍・頼家にとっても筆頭の家臣だった。このことが他の御家人から妬まれていた。また、御家人の動静を将軍に告げ口する「讒言」を用いる人物として、御家人たちは警戒していた。景時は、頼朝の寵臣・結城朝光に謀反の疑いがある、と頼家に讒言したとされ、その噂を聞いた阿波局(時政の娘で頼朝の異母弟の阿野全成の妻)は朝光に対し、謀反を理由に景時に討たれる恐れがある、と伝えた。危険を感じた朝光は、三浦義澄の子・義村に助けを求め、義村は讒言をする者は退治しなければならぬと御家人を集め、弾劾状を作成した。すると、弾劾に賛同する御

家人は六十六名にのぼり、頼家もその勢いを無視することが出来ず、景時の弾劾に同意し、景時を鎌倉から追放してしまう。弾劾状には反北条派の比企能員も署名していたため、有力御家人は景時の権力が大きくなるのを警戒していたのかもしれない。

梶原景時館跡

(神奈川県寒川町)



景時は弁舌に優れ、和歌を嗜む教養人で、京の貴族とも交流があった。

建仁元年(一一〇〇)、景時は鎌倉を離れ、一族を引き連れて親しい貴族がいる京へ向かった。鎌倉では周囲に疎まれているため劣勢挽回は難しいと考え、京の貴族たちとの交流を深め、再起を図ろうとしたのかもしれない。しかし、駿河の国に入ったところで在地の御家人・吉川友兼と遭遇し、友兼に襲撃され景時は殺害される。この事件は、時政が友兼に景時襲撃を指示して起こした可能性が高い。頼家は景時殺害に激怒し、

妻となり嫡男の一幡を生んだため、比企氏は北条氏に代わり将軍の外戚として勢力を伸長させていた。

建仁三年(一一一三)五月、景時失脚の原因を作った阿波局の夫で時政に近い阿野全成に謀反の疑いをかけ、八田知家に誅殺させる。頼家は北条氏の台頭を抑えようとするが、反北条派の主柱であった景時が亡くなったことで、北条時政の野心は増長し、さらなる謀略を企てる。

比企能員の変

反北条派の比企氏は、頼朝の流人時代を支えた源氏の忠臣で、頼朝の乳母は比企尼、比企尼の娘が頼家の乳母で、乳母を出した家として権勢をふるった。さらに比企能員の娘・若狭局は頼家の

相続案を阻止するため時政の討伐を計画したが、その動きを察知した時政は能員の謀殺を画策する。時政は大江広元を味方に引き入れ、仏事を催すと偽り油断をさせて能員を自邸に誘い、切り殺してしまふ。時政は比企氏の館に立てこもった比企一族を攻撃し全滅させ、辛くも館から逃げ出した若狭局と一幡を捕らえて殺害した。

比企能員の変の後、危篤だった頼家は奇跡的に回復し、嫡男の一幡と比企氏が討伐されたことに憤怒した。ただちに和田義盛に時政追討を命じたが、時政と通じていた義盛は頼家の命令を時政に伝え、時政は頼家を北条氏の支

畠山重忠の誅殺

幕府の実権を握った北条時政は、さらなる権勢の拡大を求め、武蔵国の掌握を目指した。武蔵国の有力御家人は畠山重忠で、数々の武功をあげた忠臣と

配下にある修善寺に幽閉する。同年九月、幕府の申請により朝廷から実朝に將軍宣下があり、翌十月、時政は政所別当に加わり、事実上の執権に就任し、幕府の実権を掌握した。

の名声が高く、北条義時も重忠を高く評価していた。ところが、武蔵国の支配を目論む時政は、畠山重忠の存在が目障りで、元久二年(一一一五)六月に重忠に謀反の疑いをかけ、義時に重忠を誅殺するよう命じる。義時は、重忠が謀反を企むはずはないと父に反発するが、命令に背くわけにはいかずに重忠を討つが、謀反の証拠は乏しく、時政の陰謀であることが濃厚となる。この時から義時と時政の対立は表面化する。

比企能員邸址

(神奈川県鎌倉市)



比企氏は武蔵国比企郡(現在の埼玉県比企郡・東松山市)を領する一族。

畠山重忠が愛馬をかつぐ像

(埼玉県深谷市)



馬で急斜面を駆け下り平家軍を攻めた源義経軍による奇襲・鶴越の坂落しでは愛馬・三日月に怪我をさせまいと馬を担いで駆け下りたという説に基づいた像。畠山氏は武蔵国の武将で秩父氏の一族。重忠は文武に秀で清廉潔白人柄から「坂東武士の鑑」とも称された。畠山重忠公史跡公園内。

時政の追放

一方、時政の後妻の牧の方は、時政の劣勢を挽回するため、娘婿の平賀朝雅（源氏一門）を四代將軍にするべく画策する。朝雅は北条氏と比企氏の両方と縁戚関係があり、先述の「比企能員の変」で北条に味方した。これにより朝雅は時政の信任を得て、西国平定のため、京都守護になり上洛した。元久元年（二〇四）四月、朝雅は、平家の残党が起した「三日平氏の乱」を平定し、伊勢・伊賀の守護に任命された。このような経緯から、時政と牧の方は朝雅を將軍にし、権力を維持しようとしたのだ。

しかし、この画策は義時と政子に阻まれる。義時は時政の館を襲撃し、実朝を自邸に保護した上で、時政と牧の方を鎌倉から追放し、時政は出家した後、修善寺に流される。時政は畠山重忠の誅殺事件で御家人たちの人望を失い、時政に味方する御家人はいなかった。父を排除した義時は政所別当に就任し、二代目執権の座につき、実権を握ることとなる。

（次号に続く）

地域の話題

鎌倉殿の13人

源氏を支えた武威武士

足立遠元と桶川市

足立遠元は平安時代末期から鎌倉時代初期に活躍した武蔵国（現在の埼玉県、東京都、神奈川県の一部）の武士で、鎌倉幕府を創設した源頼朝の御家人として幕府の重臣となった人物です。鎌倉幕府の有力御家人による13人の合議制メンバーにもなっています。遠元は藤原北家（勸修寺流）の家系で、父は藤原遠兼。遠元の生没年ともに不明です。父の遠兼は京から関東の武蔵国府の役人として下向し、在地の有力官人であった豊島康（泰）家の娘と結婚しました。その子が遠元で、足立郡司職を継承したと伝わり、その職に因んで「足立」を姓とし「足立遠元」と名のりました。

足立遠元の館は、桶川市にあったという伝承があります。遠元が治めていた足立郡は、現在の行政域に照らすと、鴻巣市・北本市・桶川市・伊奈町・上尾市・さいたま市・戸田市・蕨市・川口市・草加市・東京都足立区にわたる広大な範囲でした。江戸時代の文化・文政期に江戸幕府が編纂した「新編武蔵風土記稿」の桶川宿の項にも、遠元館と伝わる地があることが記述されています。現在、桶川市末広に遠元館を示す顕彰碑が建てられています。この地は旧跡として桶川市指定の文化財に指定されています。

（参考資料）

桶川市市民大学資料



遠元館跡の石碑

「鎌倉殿の13人」主な登場人物

【2013年NHK大河ドラマ】

鎌倉殿の13人

- 北条義時…小栗旬
- 北条時政…坂東彌十郎
- 梶原景時…中村獅童
- 比企能員…佐藤二朗
- 安達盛長…野添義弘
- 和田義盛…横田栄司
- 大江広元…栗原英雄
- 三善康信…小林隆
- 三浦義澄…佐藤B作
- 足立遠元…大野泰広
- 八田知家…市原隼人
- 中原親能…川島潤哉
- 二階堂行政…野仲イサオ

北条家

- 北条政子…小池栄子
- 牧の方…宮沢りえ
- 実衣／阿波局…宮澤エマ
- 大姫…南沙良
- 北条泰時…坂口健太郎
- 北条時房…瀬戸康史
- 比奈…堀田真由
- 八重…新垣結衣

源氏

- 源頼朝…大泉洋
- 源頼家／鎌倉殿…金子大地
- 阿野全成…新納慎也
- 源範頼…迫田孝也
- 源実朝…柿澤勇人

坂東武士

- 畠山重忠…中川大志
- 三浦義村…山本耕史

朝廷公家

- 後白河法皇…西田敏行
- 丹後局…鈴木京香
- 後鳥羽上皇…尾上松也
- 九条兼実…田中直樹

その他

- 静御前…石橋静河
- 里…三浦透子
- 公暁…寛一郎
- 文覚…市川猿之助
- 運慶…相島一之

鎌倉幕府関係年表

年	北条義時	事項
建久元年(1190) 11月	28歳	頼朝上洛
建久3年(1192) 3月	30歳	後白河院崩御
7月		頼朝に征夷大將軍宣下
建久6年(1195) 3月	33歳	頼朝再上洛
建久7年(1196) 11月	34歳	関白九条兼実失脚
建久10年(1199) 1月13日	37歳	頼朝死去、頼家が二代目鎌倉殿となる
4月12日		將軍親裁が停止され13人の重臣による合議制に変更
12月		有力御家人梶原景時の追放、後に殺害される
建仁2年(1202) 7月22日	40歳	頼家に將軍宣下
建仁3年(1203) 8月	41歳	頼家が病のため危篤に陥る
9月2日		北条家粛清をはかった頼家岳父の有力御家人比企能員が謀殺される、比企一族滅亡。
9月7日		頼家出家、伊豆修善寺に幽閉。実朝に將軍宣下
10月9日		北条時政が政所別当に加わる～事実上の執権就任
元久元年(1204) 7月18日	42歳	頼家、幽閉先で殺害される
元久2年(1205) 6月22日	43歳	北条時政の策謀により、有力御家人畠山重忠討たれる
閏7月19日		京都守護の平賀朝雅の將軍擁立をはかった時政が政子と義時により出家に追い込まれ、伊豆修善寺に幽閉
7月20日		義時が2代目執権に
8月		京都で平賀が誅殺される
建暦3年(1213) 2月	51歳	実朝の廃位と義時排除の陰謀発覚～侍所別当和田義盛一族も関与
5月2日		義盛が三浦一族を率いて御所や義時・大江広元邸襲撃
5月3日		義盛討死
5月5日		義時が侍所別当兼任
建保6年(1218) 2月	56歳	北条政子上洛
承久元年(1219) 1月27日	57歳	後鳥羽院の皇子を次期將軍として迎える交渉を開始
3月8日		鶴岡八幡宮で実朝が甥の公暁に殺害される
		後鳥羽院の使者が鎌倉に下向
		摂津国長江荘と倉橋荘の地頭職の解任を要求
3月15日		京都に向かった北条時房、解任を拒絶
7月19日		九条道家の子・三寅が次期將軍として鎌倉に下向
承久3年(1221) 4月20日	59歳	順徳天皇讓位、仲恭天皇即位
4月28日		後鳥羽院、流竊馬と称して畿内近国の武士を招集
5月14日		義時追討の院宣が五畿七道に下る
5月15日		後鳥羽院、京都守護伊賀光季を討つ
5月19日		幕府、遠江・信濃以東の国々に上洛を促す
5月21日		幕府、即時上洛確認
6月5日		幕府軍、上皇軍を尾張で破る
6月14日		幕府軍、上皇軍を宇治で破る
6月16日		泰時率いる幕府軍入京
元仁元年(1224) 6月12日	62才	義時死去
7月17日		政子が三浦義村邸を訪れて詰問
閏7月23日		一条実雅を京都に送還
閏7月29日		政所執事伊賀光宗、執事罷免
8月29日		義時後妻伊賀の方は伊豆に蟄居
嘉禄元年(1225) 7月		政子死去。この年、評定衆を新設
嘉禄2年(1226) 正月		三寅改め九条(藤原)頼経に將軍宣下

金冠塚古墳

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 専門員(主任)

板垣泰之

古代朝鮮半島の新羅との関係が見られる冠が出土

古墳を見ていきましょう。墳丘は二段に盛られていましたが、二段目の上部は削られてすでに残っていませんでした。古墳の表面には長径二十センチメートル、厚さ五〜七センチメートルの扁平な葺石が小口積み(短い辺を見せる積み方)にして積まれていたことがわかっています。

石室は後円部に構築され、羨道(古墳内の玄室までの道)から玄室(埋葬した場所)を見たときに石室内の幅が広がる両袖型横穴式石室でした。玄室の壁は加工しやすい榛名山の噴火でできた角閃石安山岩を利用しており、立方体やL字型に加工した切石を利用していました。古墳の周堀は道路や宅地の

金銅製冠
出典: Colbase(<https://colbase.nich.go.jp/>)模造 金銅製冠
出典: Colbase(<https://colbase.nich.go.jp/>)

金冠塚古墳は六世紀後半(五〇〇年代後半)に作られた前方後円墳です。墳丘の大きさは全長五十三メートル、前方部幅四十二メートル、後円部径三十三メートル、高さ二メートル五十七センチほどが発掘調査で確認されています。

冠塚古墳の名称は大正四年に金銅製の冠が出土したことから名付けられました。

金冠塚古墳が所在する前橋市の朝倉・広瀬古墳群は、昭和十年の調査では百七十基近くの古墳が確認された大規模

下まで広がっており規模はわかっています。

次に出土品について紹介します。発掘では、埴輪が多量に出土しましたが、破片が多く復元はほとんどできませんでした。これらの埴輪は墳丘上に立てられていたもので、出土状況から円筒埴輪は墳頂と裾のテラスに三・三メートル間隔で並んでいたと考えられています。そのほかに、埴頂部には靴や家、大刀、楯などを象った器財埴輪や、男性や女性の人物埴輪が配置されていたと考えられます。

石室内からは、東京国立博物館に収蔵されているこの古墳の名の由来となった金銅製冠や衝角付冑、金銅製大帯などが出土しているほか、一九八一年の調査では小さな鉄板をつなぎ合わせた小札甲の破片が多く出土しています。

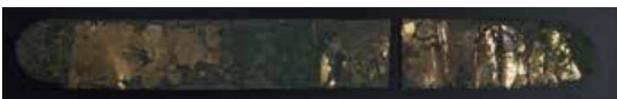
さて、これまでの情報から古墳の全体像を改めてイメージしてみましょう。築造された当時は、墳丘二面に葺石がほとんど、墳丘上と中段のテラスには日光を浴びながら円筒埴輪が巡っています。埴頂部には家や人物、武器武具の埴輪が並べられ、権力者の墓を飾っています。

ました。埋葬施設には遺体ともに冠や帯など輝きを放つ金銅製の副葬品と共に冑や甲が埋葬されていたのです。

ではここに埋葬されていた人物はどのような人物か考えてみましょう。そのヒントは副葬品として出土した金冠です。この冠は「出」の字の形が連なった形(ちなみに韓国では「山」の字が連なった形)を持つことから、金銅製出字形立飾帯冠という名称がつけられています。この形の冠は韓国の安東市に所在していた枝洞二号墳でも発見されている新羅王権を象徴する冠です。同様の冠と見

られる金銅製品は群馬県内では他に玉村町にある六世紀後半の前方後円墳である小泉大塚越三号墳からも出土しています。こうした例からこの時期には渡

来系製品が多く群馬県に持ち込まれており、関係者が来ていたことがわかります。現在、出土品の金冠は東京国立博物館の考古展示室に複製品が展示されています。また、前橋の金冠塚古墳は復元、整備されています。周辺の朝倉・広瀬古墳群とあわせて散策してみるのもいいのではないのでしょうか。

衝角付冑
出典: Colbase(<https://colbase.nich.go.jp/>)金銅製大帯
出典: Colbase(<https://colbase.nich.go.jp/>)

周辺には公園が整備されています。



後円部側の裾部に解説板と標柱があります。

参考文献
前橋市教育委員会1981
「金冠塚(山王二子山)古墳調査概報—環境整備事業に伴う発掘調査—」
高崎市観音塚考古資料館2018
「古墳時代の群馬の渡来文化—観音塚古墳の被葬者を探る—」

渡辺香奈

パワフル・チャーミング・ガール

10メートルを超す大作 「The River」

高崎駅東口を出て、ペDESTリアンデッキを通って高島屋へ向うと、二階入口付近の天井や柱に、不思議な作品の写真が貼付けられているのをご存じだろうか。二年前のアートプロジェクト高崎でお目見えしたものが、今でも撤去されずに見ることができている。これが渡辺香奈の作品「The River」を用いたものだ。知っている人は、なかなかの美術通だ。

縦一九四センチ、横二〇メートル四二センチもの超大作「The River」は、丁度十年前の作品で、高崎市美術館での展覧会で発表されたものだ。湾曲した美術館の展示壁面を想定して制作され、その作品を初めて見たときの驚きと感動は今でも脳裏に刻まれている。その後、二〇二〇年の同館での「Flower展」でも再展示され、昨年は作品が寄託された県立館林美術館でも展示されていた。

リーマンショックが転機

渡辺香奈は一九八〇（昭和五五）年九月五日、岩手県盛岡市で生まれた。小学校五年生のときに高崎に転居。子どもの時から絵を描くのは好きで、中学二年生のときのために必死だったに違いない。いちいち列記するのは止めるが、様々なコンクールに応募して入選と受賞を重ねた。あまりの頻繁さに、渡辺さんの作品がどこかの展覧会場に飾られない日はないという状態だったらしい。

こうして二〇〇九年、銀座の老舗画廊である日動画廊が主催する昭和会展に招待出品となり、最高賞の昭和会賞に次ぐ松村謙三賞を射止めた。一九六六（昭和四一）年にスタートした長い歴史を持つ昭和会展で受賞すれば、日動画廊のバックアップが約束される。これまでも数多くの画家が、昭和会展を足掛かりとして檜舞台に登場している。渡辺香奈は見事に画家としての道を切り開いた。

ナラなる飛躍

二〇一〇（平成二二）年、高崎市美術館の若手作家を紹介する企画「作家王国」に、横田尚と共に「ウォーターガール」というタイトルで取り上げられ、翌年には上毛芸術文化賞を受賞、日動画廊での初個展も開催した。二〇二二年には再び高崎市美術館での企画「アート・トリイズ」に数多くの作品を出品した。冒頭に紹介した大作「The River」が公開されたのがこの展覧会だった。

その展覧会の会期中、渡辺は文化庁の新進芸術家海外派遣に選ばれ、スペインへ旅立つ。一年の予定だったが、帰国したのは二〇二四年だった。

スペインでは基礎的な人体デッサンと、プラド美術館でのベラスケスやリベラの模写に挑戦、さらにはスペイン・リアリズムの巨匠アントニオ・ロペスの講習会にも

に美術文化協会が主催する世界児童画展で日本国際連合協会賞を受賞したのをはじめとして、高崎女子高校へ進学すると県高校芸術祭で最高賞、全日本学生美術展でも受賞するなどその実力は証明されているが、中でも高校三年生のときに二紀展に初出品で初入選したのは、新聞でも取り上げられる快挙だった。

それでも渡辺さんは、絵は趣味にして堅実な就職の道を選んだ。慶應義塾大学総合政策学部を卒業して、大学院の政策メディア研究科も修了。大手電機メーカーでデザイナーとして働くことになった。その一方で二紀展や県展には作品を出し続けた。県展では受賞を重ね、二〇〇七年には知事賞を獲得するまでになっていた。

そんな渡辺さんの二重生活に終止符を打ったのがリーマンショックだった。外界に左右される仕事ではなく、自分の力だけで切り開ける絵描きの道へと方向転換を決意する。

切り開かれた道

二〇〇八（平成二〇）年、三年余り勤めた職を辞すと渡辺さんの活躍は目覚ましかった。絵描きとしてやっていけるかの試練の年でもあり、画家として認められる

参加して直接指導を受けることができた。美術大学で学べなかつたという渡辺のハンデは、この二年間の留学で完全に消え去った。

挑戦は続く

帰国後、日本とスペインの文化の差異から来る違和感に着想した「パーフェクトブルー」のシリーズや、花のつぼみから枯れるまでを二画面に収める「二輪の花束」シリーズなど、テーマをもった作品制作を展開。日動画廊や日本橋三越をはじめとして高崎高島屋での個展などで作品の発表を続けている。

髪を振り乱した動きのある人体表現は、当初から渡辺香奈が好んで描いたものだが、日本を代表するパレリーナである吉田都の協力を得て、パレリーナを描くことも始めた。

思い込んだら結果を得るまで突き進んで行くのが渡辺のバイタリティーだが、最近ではスペインでデッサン用に使っていた木炭が日本で入手できなかつたため、半年余り木炭探しに夢中になり、遂に富岡の養蚕農家で炭窯を持つ人にたどり着く。遮断材として破棄していた桑の木炭が使えることが分かり目的を達成したが、このエピソードひとつ取っても渡辺の行動力には舌を巻く。

その木炭の試作に、養蚕農家ではネズミを捕る神として大事にされる猫をテーマにデッサンを多作し、作品発表の場に富岡製糸場を選んだのも見事だ。

今回のヤマトでの個展には、この猫のデッサンを含む留学後の仕事の成果が披露される。前橋での個展は初めてであり楽しんだ。



2022年 富岡製糸場「渡辺香奈木炭画展～猫は蚕の守り神～」 富岡産の桑木炭を使ったデッサンの展示



2020年 高崎市美術館「Flower～今をいろどる花たち～」 左が大作「The River」、右が「一輪の花束」シリーズ

美術研究家 染谷 滋

渡辺香奈 KANA WATANABE

略歴
 1980 岩手県生まれ
 2005 慶應義塾大学大学院政策メディア研究科修了
 2012 文化庁新進芸術家海外派遣（スペイン・1年派遣員）
 2011 日動画廊個展（同18・21）
 2015 日本橋三越個展（同19・22予定）
 2020 高崎高島屋個展
 アートフェア東京2010、Art台北2011、高崎市美術館、群馬県立館林美術館などにて作品発表。
 現在、群馬県美術会会員、社団法人二紀会連合会、早稲田大学非常勤講師（2019）

プリンスバケーションクラブ／軽井沢浅間プリンスホテル様

長野県軽井沢町



新緑の浅間山 客室、レストラン、温泉から山容を眺めることができる。手前の緑地は軽井沢浅間ゴルフコース。

軽井沢浅間プリンスホテルは、ゴルフ場に隣接する隠れ家的リゾートホテルとして、1997年（平成9年）に営業を開始しました。眼前には軽井沢浅間ゴルフコースが広がり、軽井沢72ゴルフから最も近いホテルとして、ゴルフを楽しむお客様から高い支持を得ています。2019年（令和元年）7月には、浅間プリンスホテルの一般営業に加え、会員制ホテルの機能を持つ「プリンスバケーションクラブ ヴィラ 軽井沢浅間」と、「プリンスバケーションクラブ 軽井沢浅間」を開業しました。建設プロダクトのヤマトは、1997年竣工のホテル、2019年竣工のヴィラ棟と温泉棟の設備工事に携わらせていただきました。



温泉棟「Breeze in Plateau(ブリーズ イン プラトゥー)」 源泉は軽井沢押立温泉

住所 〒389-0113 長野県北佐久郡軽井沢町発地南軽井沢
 上信越自動車道碓氷軽井沢ICから5km(平常時約6分)
 電話 0267-48-0001
 URL <https://www.princehotels.co.jp/asama/>

お客様インタビュー

プリンスバケーションクラブ ヴィラ 軽井沢浅間・プリンスバケーションクラブ 軽井沢浅間
 軽井沢浅間プリンスホテル・軽井沢浅間ゴルフコース

支配人 土屋 勝様

プライベート空間を満喫し、温泉でリラクセス



軽井沢の避暑地としての歴史は、明治時代に遡ります。1886年（明治19年）にカナダ人宣教師のA.C.シヨール氏

すべての客室にバルコニーがあり、いずれも浅間山に向いているため、自分の空間から浅間山を独り占めできます。スイートルームを除き、ツインルームのみで構成され、ご夫婦、カップルの方々にくつろいでご利用いただけます。隣接するゴルフコースは日本では珍しいツースム専用で、プライベートなプレーをお楽しみいただけます。

が、布教活動で軽井沢を訪れた際、自分の生まれ故郷の環境に酷似していることから、避暑地としての適性を内外に紹介し、2年後の明治21年に自ら最初の別荘を建てました。その後、日本の政財界に軽井沢の評判が高まり、日本有数の別荘地になったのです。西武グループが軽井沢の地で事業を開始してから100周年となりました。プリンスホテルの前身の箱根土地(株)が運営した「観翠楼」が初めての宿泊施設となります。「プリンスホテル」としては、1947年（昭和22年）開業の「プリンスホテル(後の千ヶ滝プリンスホテル)」が第一号です。

軽井沢浅間プリンスホテルは、スキー場やショッピングプラザからも一定の距離があるので、人が集まる場所やレジャー施設の賑わいから離れ、非日常的な静かなホテルでプライベート空間を保てる点が魅力となっています。また、当ホテルは

2019年（令和元年）7月には、当ホテルの敷地内に15棟のヴィラタイプの会員制ホテルが開業しました。ご家族やご友人とお気に入りの別荘で過ごすような、ゆったりとしたくつろぎのひと時をご提供いたします。また、当ホテル内の客室を転用した48室を会員制ホテルとし、客室を改装してファミリールームを造り、レストランもリニューアルしました。さらに、滞在価値の向上を図るため、敷地内に温泉棟を新設しました。肌が滑らかなになる泉質で、ご好評をいただいております。ホテル棟と温泉棟の間にはスムーズに移動ができるように、プリンスホテルとしては珍しい、モノレールを新設しました。緑豊かな環境と浅間山を望む絶景リゾートとして整備されています。

軽井沢浅間プリンスホテルの客室30室は、一般のお客様がご利用できる客室として、通年営業中です。皆様のご利用をお待ちしております。
 (2022年3月23日取材)

プリンスグランドリゾート軽井沢の歴史

- 1921年 観翠楼(のちのホテル観翠)営業開始
- 1923年 グリーンホテル営業開始
- 1929年 軽井沢千ヶ滝遊園地(テニスコート等)営業開始
- 1936年 押立山ホテル 完成
- 1937年 軽井沢大観楼 完成
- 1947年 旧朝香宮家の別荘を取得し、「プリンスホテル」として営業開始
- 1949年 晴山ホテル(現 軽井沢プリンスホテル ウェスト)営業開始
- 1956年 軽井沢スケートセンター 営業開始
- 1961年 南軽井沢ゴルフ場(現 軽井沢72ゴルフの二部)営業開始
日本初の人工降雪スキー場として晴山スキー場営業開始
- 晴山ゴルフ場 営業開始
- 1966年 晴山ホテルゴルフ場(現 軽井沢プリンスホテルゴルフコース)営業開始
- 1968年 晴山ホテルに紅葉山Aタイプコテージ完成(コテージ営業の最初のタイプ)
- 1973年 軽井沢プリンスホテル本館(現 イースト)営業開始
- 軽井沢プリンスホテルスキー場 営業開始
- 1977年 軽井沢スケートセンターホテル(のちの軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)営業開始
- 1982年 軽井沢プリンスホテル新館(現 ザ・プリンス 軽井沢)営業開始
- 1994年 軽井沢浅間ゴルフコース 営業開始
- 1995年 軽井沢・プリンスショッピングプラザ 営業開始
- 1997年 軽井沢浅間プリンスホテル 営業開始
- 2014年 「別荘機能」と「ホテルサービス」を融合したザ・プリンス ヴィラ 軽井沢 営業開始
- 2019年 会員制ホテル「プリンスバケーションクラブ ヴィラ 軽井沢浅間」と「プリンスバケーションクラブ 軽井沢浅間」営業開始



コンフォートツインルーム



ヒッキオナイトサファリツアー(要予約)
 夜間にゴルフコースで野生の生き物を観察するツアーを開催。



レストラン「ダイニング プルム」 窓外には雄大な浅間山の風景が広がる。